



# わかば

2019. 8. 31

(令和元年)

第19-18号

文責 校長 信國 寿敏

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm>

毎週火曜日更新

**教育目標** 「帰国後、日本の教育に円滑に適応できるよう、日本の学校における学習指導要領に沿った国語、算数(数学)の学力の維持、併せて生活・生徒指導を行う。」

**重点目標** **一人一人が輝く教育** ～期待登校・満足下校～(2年次)

**「数学的活動」って、何なの?・・・授業スタイルが変わり、子どもの授業になります。**

算数科の目標は、「数学的な見方・考え方を働かせ、**数学的活動**(～H29.7 算数的活動)を通して、数学的に考え、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しを持ち、筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、**数学的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる**」です。(※要約文)

単に、子どもたちを活動させればよいのではなく、子どもたちが意欲的に学習に取り組める内容や教材を用意することが大事です。

例えば、

- 身の回りからの教材を見つける活動
  - ・廊下を実測する
  - ・本や箱の直角を調べる
  - ・円の面積を扇形に分解していく
- どうして、なぜと感ずるめあて、問題を用意する。
  - ・マジックボックス
  - ・算数博士からの挑戦状



すると、**算数(数学)の授業は、**

- 児童(生徒)の活動を中心とした主体的なものになる。
- 児童(生徒)にとって楽しいものになる。
- 児童(生徒)にとって分かりやすいものになる。
- 児童(生徒)にとって感動のあるものになる。
- 創造的、発展的なものになる。
- 日常生活や自然現象と結びついたものになる。



## 【具体的な数学的活動】

- 手や身体などを使ってものを作るなどの作業的な活動
- 教室の内外において各自が実際に行ったり確かめたりする体験的な活動
- 身の回りにある具体物を用いた活動
- 実態や数量などを調査する活動
- 数量や図形の意味、性質や問題解決の方法などを見付けたり、作りだしたりする探究的な活動
- 学習したことをさらに発展させて得る活動
- 算数や他教科等の学習を通して身に付けたものを総合的に用いる活動

# 児童生徒の作品紹介13



1年の絵日記、3年の俳句や作文、5年の作文、6年の短文づくりをご紹介します。校長 信國



1ねんせい えにっき  
「こんなこと したよ」

いけだ あんり

かがわけんにいきました。おばあちゃんとおじいちゃんのおうちにいきました。おばあちゃんがんばるスープをつくってくれました。とてもおいしかったです。おじいちゃんがきれいな20どるをくれました。とてもうれしかったです。

しらい みわ

おもちゃをくれました。どうしてかという、りさちゃんがおなじのをもってるからです。スイステイペットと、いいです。もうひとつほしいです。くま、ねこ、うまをもっています。

カバーをつけて、サプライズのは、うまでした。プレスレットとか、つくれます。アマゾンでかいました。

さとう はやと

きやんぷにいきました。みずうみにはいりました。みずうみは、つめたかったです。でたら、さむくてたきびで、あたたまりながら、ましゅまるをたべました。

また、みずうみのすなはまで、ひなたごっこをしました。みずうみのちかくで、われるいしをみつめました

あかつ うた

わたしはなつまつりにいきました。ゲームもいっぱいしました。よるにいきました。はなびもいっぱいあがりました。たのしかったです。



おばあちゃんは、かぼちゃスープづくりの名人のようですね。アメリカから帰ってきたお孫さんが愛しくてたまらないのでしょうか。プレスレットづくりなど、たくさん楽しめて良かったです。冷えた体に、たき火の暖かさや香ばしく焼けたマシュマロは格別な事でしょう。私の地元、久留米市では、毎年8月に、筑後川沿いの水天宮で350年以上の歴史を持つ花火大会があります。河川敷に陣取り、ほぼ真上に打ち上げられた花火が降り注ぐのを孫と一緒に見るのが楽しみでした。さすがに迫力満点です。

この夏の思い出をしっかりと持つことが出来た絵日記でした。心優しいおばあちゃん、おじいちゃんの様子やたき火にあたる家族、おもちゃなどの絵を紹介できないのが、とっても残念です。

## 6年生 短文づくり 「たのしみは・・・時」を使って



たのしみは

黄色いたんぽぽ  
白い子どもが  
飛んでいく時  
神田 宏平

高宮城 昊志

たのしみは

毎週日曜 夜テレビ  
家族みんなで  
テレビみる時  
関根 有美子

たのしみは

みんなで遊ぶ  
あせかいて  
つめたい水を  
のんでいる時  
黒堀 結衣

たのしみは

家に集まり 友達と  
みんなでワイワイ  
花咲かせる  
佐々木 大成

たのしみは

父といっしょに  
つめたい水を  
飲みわらう時  
田代 寛人

たのしみは

毎月こずかい  
ほしい物を  
何か買う時  
吉田 理紗

たのしみは

外で遊べと  
ベッドの上で  
本を読む時  
奥田 涼介

たのしみは

やること終えて  
布とんをかぶり  
夢を見る時  
岩淵 悠空

たのしみは

朝早く起き  
したくをし  
二階のまどで  
風にゆれる時  
豊田 アンナ

たのしみは

ともだちとする  
ゲームであそんで  
おとまりかい  
よるはねないよ  
タニ 美麗

たのしみは

ねことあそべる  
時間をわすれて  
いいことばかり  
日曜日





書き出しと終わりを指定されると、思った以上に書きやすかったのではないのでしょうか。短文づくりが、短歌へとつながりそうですね。子どもたちのささやかな楽しみ、喜びがよくわかりました。現地校と補習授業校があり、唯一の遊べる日である日曜日が、とっても大切なことも伝わってきました。

私のささやかな楽しみは、送られてきた孫たちの写真や動画を観ることです。毎回、何回となく再生してしまっています。朝のドラマ「なつぞら」を観ることも、楽しみの一つです。その楽しみも、もうすぐ終わりそうですね。

### 3年生 「気になる記号」

千木良 夏実

国語のじゅぎょうで、記号のべん強をしました。そして、わたしたちのみのまわりの記号を調べました。そこで、よく見かけるけれど、意味を知らなかった記号が何をつたえているやくわりをしているのか、どことなくふうがされているのかを調べました。



学校のいろいろな所へ行って記号を見つけて紙に書きうつしました。

わたしが見つけた記号は、出口がここにあるということを表しています。この記号は、日本人学校のドアのちかくのかべにはってありました。人がドアにむかって走っている絵がついています。

色は黒と白で、ドアのむこうは、明るい色で表されています。見てすぐにドアがあるということがわかるように、かんたんな絵になっていると考えました。

記号はひと目で大切なことを知らせられるように、形がくふうされていました。ほかにもいろいろな記号があっっておもしろいなと思いました。



去年もたくさんの記号をこの「気になる記号」で教えていただきました。言葉では難しくても、絵であればすぐにわかるのが記号のよさです。いつもお世話になっているトイレなどもありますね。

次号でも「気になる記号」を紹介します。お楽しみに！

### 5年生 作文

#### 「私の貴重な体験」

吉良 有由



「日本の体験入学は最高です。」と、思わせてくれる授業を受けました。私は、夏休みに日本へ一時帰国をしました。そして、日本の小学校に十二日間、体験入学をしました。

家庭科の授業では、さいほうをおしえてもらいました。最初に、玉結び、波ぬい、玉止めを習いました。針に糸を通す所まで早かったのですが、玉結びでとまどいました。玉結びは、ぬった糸が抜け出ないようにするためです。指先に糸をまいて作るやり方を教えてもらいました。最後に糸を引いたら、結び目に小さなわっかが、できないようにするのがむずかしかったです。

クラスの皆は、本返しぬいをしていましたが、私は、波ぬいをれんしゅうしました。以前に家でぞうきんをぬったことがあるので、とまどうことなくできました。しかし、最後の玉止めをする時に時間がかかりました。針にまきつけた糸を手で強めにおさえて、糸をひっぱりぬくのがむずかしかったです。

次に、二つ穴のボタン付けをしました。私は、ボタン付けが一番楽しいと思いました。なぜなら、ボタン止めをする時に、ボタンに糸を何回かまきつけて止め上げる作業がおもしろかったのです。付けたい位置にぬい付けられた時に、自然と笑顔になったからです。

最後に、友達や先生と見せ合って、話をたくさんしたこと楽しかったです。これから、いろいろなぬい方を覚えて、いろいろな物を作っていきたいと思いました。

アメリカの学校では経験できないことができてうれしかったです。日本の学校に通う同級生たちは、私とは違っていました。私も負けないように、いろいろなことを学んでいきたいと思っています。

【担任 ドールズ先生のコメント】 家庭科の授業は、生活に役立つことがいっぱい、私も大好きでした。さいほうを学んで良かったですね。家でもししゅうなどにちょうせんしてみよう。良い経験をしっかりと文章で表すことができました。

【校長】 高学年担任時代は、指先の動きが鈍い私も教えていましたが、意外と楽しい教科でした。





### 3年生 「俳句を作ろう」

#### 夏の俳句・運動会の俳句

葉の上に あかいいほタル うつくしい  
 だがし屋で お土産さがし 楽しいな  
 夏休み 本がいっぱい 読み切れない  
 来年は ぜったいかちたい うん動会

杉本 倫英菜  
 上田 翼  
 鳥居 零葉  
 スプレッカー 世成



清らかな水の上をゆったりと光り舞うホタルは美しいですね。たくさん読もうとしたけど、あまりにも多くて読み切れなかったのですが、まだまだ3年生ですので、次にチャレンジしてください。お土産を探したり、運動会で汗を流したりして、すばらしい夏の思い出になりましたね。

### 校長授業参観②・・・1-2 近藤 亜紀子 学級

#### 算数科学習 「どちらが おおい」

この学習は、身の回りにある入れ物(ペットボトル)に入っている水の量に関心を持ち、片方の容器に入れたり、他の入れ物に入れたりする数学的活動を通して、量や体積についての感覚を豊かにすることです。

低学年は、抽象的思考が難しいので、より具体的な教具による数学的活動が求められます。一方では、この活動には丁寧な準備、事前演習、何よりも活動の時間確保が必要ですので、教師の「慌てず、焦らず、諦めず」の寛容的な忍耐も必要です。

子どもたちは、教師の演示を参考にペアになって水を移し替えたり、しゃがみ込んで高さ比べをしたりしていました。結構時間がかかるだろうと思いましたが、予定通りの時間で活動を終えることが出来たのは、先生の丁寧な言葉の支援と、事前の演習、準備が功を奏したものと感心しました。



### 校長授業参観・・・3-3 マティソフ 眞規子 学級

#### 国語科学習「つたえよう 楽しい学校生活 インタビュー」

この学習では、楽しい学校生活を他者に伝えるために、インタビューをするための準備や手順などを学んでいきます。

ポートランド日本人学校の歴史や日本の学校との違いなどが、インタビューの質問となっていることを、事前に先生からインタビューの打診をされていました。

このような事前の連絡調整や子どもたちがインタビュー活動をする上で、配慮しておくべきこと、準備する物が、丁寧にしてありました。具体的には、インタビューをするためのアポイントメントとりの仕方、インタビュー時の挨拶や手順の様式などを準備してあり、感心しました。まずは模倣から入り、慣れてくればきっとアレンジへと発展します。

また、授業開始前に現地校の先生の机の周りで遊んでいた児童に対して、指示命令的な「やめなさい」の言葉ではなく、どうして周りで遊んではいけないかを子どもが分かり易い話で説明し、優しく諭している姿にも感心しました。

